

研究レポート No.564 岩手県農業研究センター

業務用ほうれんそうの露地栽培に適する品種（秋どり）

【1 成果概要】

冷凍食品や総菜等に利用される業務用ほうれんそうは、西南暖地を中心に冬春期の生産が主ですが、本県では夏秋期に露地で大株に育て、フレッシュ・カット野菜として供給できる可能性があります。そこで、秋どり作型に適する品種を選定しました。

(1) 秋どり用品種の特性は次の表のとおりです。

品種名	耐葉先枯れ症	葉色	収量性	作業性	収穫作業時間あたりの収量	総合評価
パワーアップ7(1~7)						
葉多坊(1~7)						
スパイダー(1~7)						
パドック(1~7)						
デュエル(1~7)						
トラッド(1~5)						
パラデシア(1~7)				×		
クロスロード(1~7)				×	×	×
ラウンドセブン(1~7)					×	×

:強~ :弱 :濃~ :淡 :多~ :少 :優~x:劣 :優~x:劣

(2) 葉先枯れ症が少なく、濃緑で収穫作業時間あたりの収量が優れることから、秋どり用品種として「パワーアップ7」が有望です。

(3) 「クロスロード」「ラウンドセブン」は収量性および作業性が劣ることから、業務用ほうれんそうとしては適さないと判断されました。

【2 効果】

(1) 業務需要に対応できる露地で大型サイズのほうれんそう品種を選ぶ参考となります。

【3 留意事項】

(1) 品種の選考基準として、収穫の目安を草丈40cm、株元3cmの葉柄の太さが1cm未満、コンテナ出荷、抽だい株や葉先枯れ株および雑草の混入は厳禁として収量性や作業性を調査しました。

(2) 葉先枯れ症の発症程度が少ない品種でも、石灰を十分に施用し、また過剰施肥を避ける等の対策を講じてください。



図1 パワーアップ7の草姿



図2 包丁での収穫作業